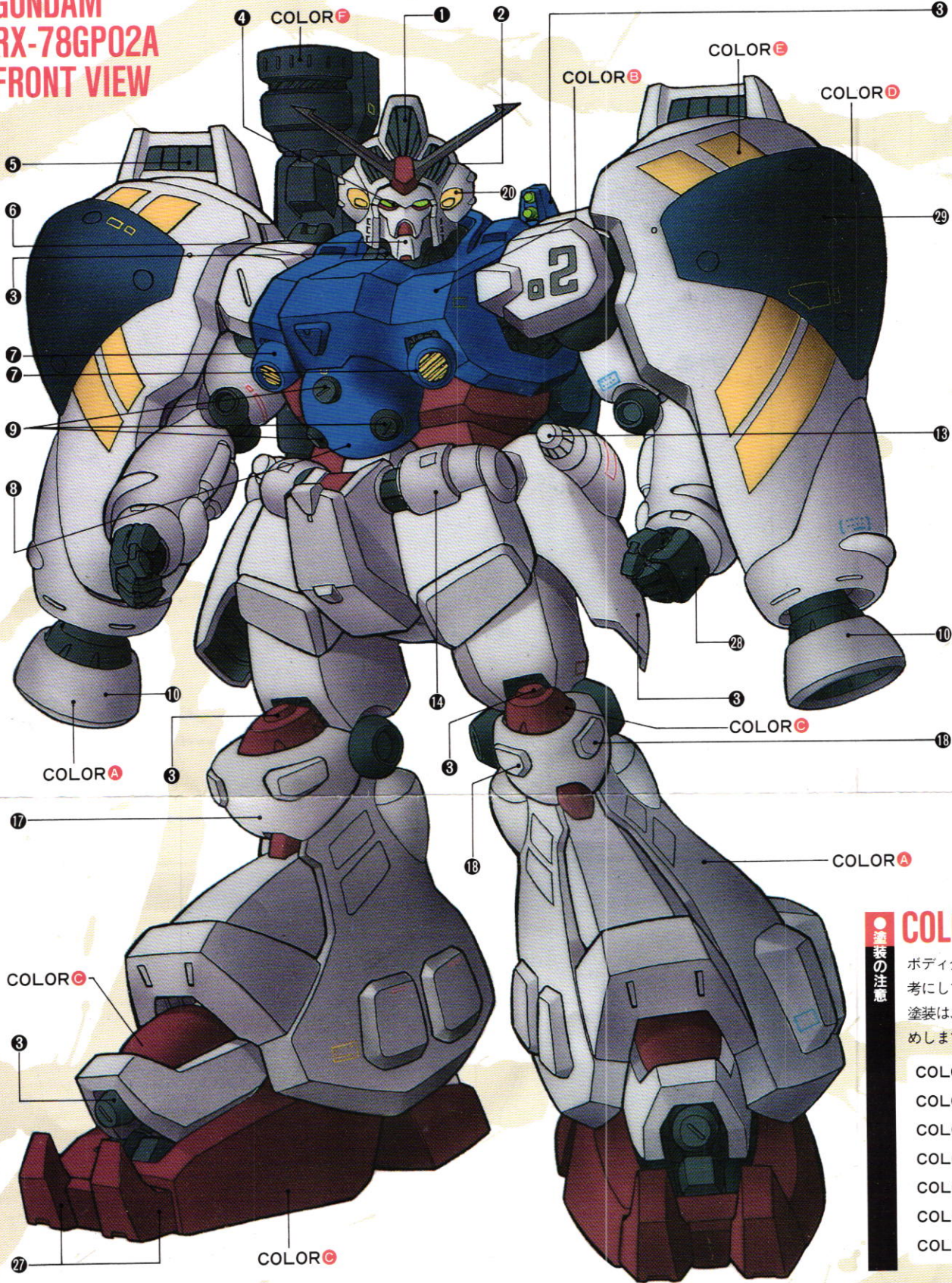


GUNDAM
RX-78GP02A
FRONT VIEW



GUNDAM
RX-78GP02
REAR VIEW



●塗装の仕様

COLORING

ボディ全体に塗装する場合には、上の考にしてください。
塗装は、より安全な「水性塗料」のごめします。

- COLOR A 白+フィールドグレー(1)
- COLOR B コバルトブルー+インディブルー
- COLOR C モンザレッド+あずき色
- COLOR D ミディアムブルー+赤(少)
- COLOR E オレンジイエロー
- COLOR F ネービーブルー
- COLOR G ニュートラルグレー

MOBILE SUIT
**GUNDAM
0083**
STARDUST MEMORY

2

機動戦士ガンダム0083
RX-78GP02A
ガンダム試作2号機

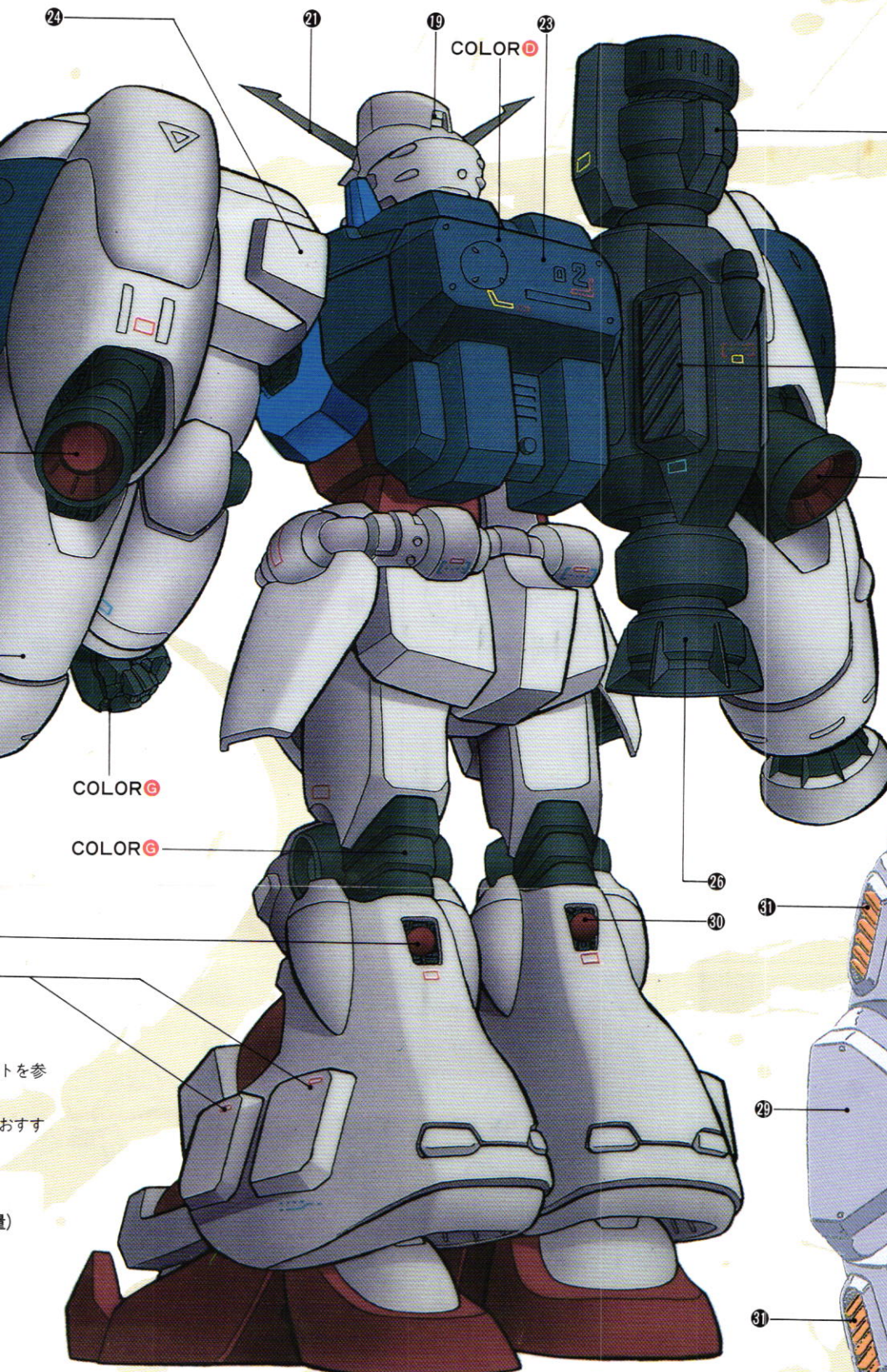
©創通エージェンシー・サンライズ
BANDAI 1991 MADE IN JAPAN

ストーリー
解説

宇宙世紀0083年。オーストラリアの連邦軍基地から、ジオン残党のデラース軍によって、核兵器装備の試作MS、ガンダムGP02が強奪された。GP02には、一年戦争時「ソロモンの悪魔」と恐れられたアナベル・ガトーが乗り込み、連邦軍基地のMS部隊を一蹴した。ドム・トロローベンやザメルなどで武装したデラース軍は、連邦の基地防衛隊を寄せ付けず、一瞬のうちに基地の戦闘能力を喪失させてしまった。デラース軍は、宇宙シャトル、コムサイによってGP02を宇宙へ持ち去ろうとするが、コウ・ウラキの乗るGP01やジムなどのM



編成した。その追撃隊の中には、共に、コウ・ウラキ少尉の姿があった彼は、追撃隊に志願し、彼を戦い、GP01のパイロットの座を地球の南半球を舞台に、ガンタ

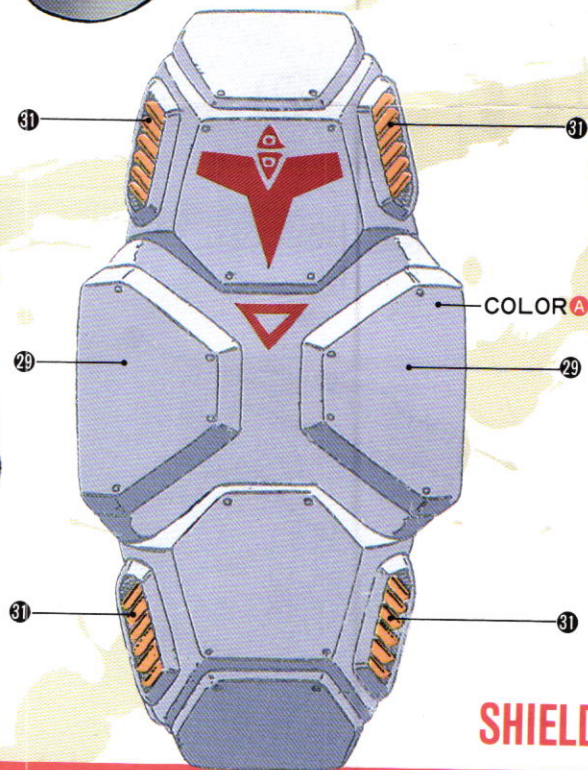


機体各部名称

- ①メインカメラディフェンスシャッター
- ②インタークシャッター
- ③サブセンサー
- ④デュアルセンサー
- ⑤オプションマウントラッチ
- ⑥ヒートレジステッドフェイスガード
- ⑦ヒート&ショックレジステッドインターク
- ⑧ヒート&ショックレジステッドコクピットハッチ
- ⑨エアシーリングボルト
- ⑩メインスラスタ
- ⑪サブスラスタ
- ⑫フレキシブルスラスタバインダー
- ⑬ビームサーベル
- ⑭フロントウエストアーマージョイント
- ⑮サイドウエストアーマー
- ⑯リアウエストアーマージョイント
- ⑰ニアーマー
- ⑱スタンスコントロールシステム
- ⑲リアカメラ/センサー
- ⑳60mmバルカン
- ㉑通信用ブレードアンテナ
- ㉒ニュークリアバズーカベース
- ㉓ウォーヘッドストックパイル
- ㉔ショルダーアーマー
- ㉕サブダクト
- ㉖メインダクト
- ㉗アングルサポートユニット
- ㉘マニピュレーター
- ㉙ヒート&ショックレジステッドアーマー
- ㉚マウントラッチ
- ㉛クーリングカタライザダクト

RX-78GP02A SPEC

形式番号/RX-78GP02A、愛称/ガンダム試作2号機、全長/18.5m、機体重量/54.5t、全備重量/83.0t、ジェネレータ出力/1860KW、主スラスタ推力/32000×4、姿勢変換/1.1sec、武装/60mmバルカン砲×2、ビームサーベル×2、専用バズーカ



SHIELD

●専用シールド下

機体解説

ガンダムGP02は、RX-78ガンダムの成功を受けて作られた、「最強のMS」を目標とした機体である。宇宙世紀においても、兵器として最強のものは核兵器であった。その破壊力と戦略上のインパクトは、他の兵器の追随を許さない。この機体には、その核兵器が搭載されている。まさに“最強の機動兵器”に“最強の破壊兵器”^{あたばな}を搭載したもので、一年戦争後の体制の中で生まれた徒花ともいえる機体である。

核兵器のあらゆる“使用”は、人類全体に対する重大な背任行為である。しかし、MSが兵器として画期的な効果をあげたため、それまでの兵器形態が覆されてしまった。さらに、一年戦争の後半、南極条約調印後であるにもかかわらず、公国軍の一部の高官が、独断で核兵器を投入しようとした記録が残っていた。連邦軍内部で、戦後の優位性を維持す

るために、核兵器を想定した機体が作られたのも、無理のないことだったかもしれない。この機体に装備されている核兵器は、戦術核として申請、登録されており、書類上もそのように処理されているが、実際には、戦略核の数倍の威力を持つ弾頭が装備されている。試算によると、連邦軍宇宙艦隊の三、四割を破壊できるという。ただし、弾頭の到達半径が短いため、核を使用した場合、自機も爆心付近にいることになる。そのため、専用シールドには冷却設備が施され、全ての装甲は、耐熱、耐衝撃処理されている。核バズーカ使用時は、シールドから銃身を取りだし、基部に装着する。背部には弾頭の貯蔵、発射装置があるため、スラスタ類は肩に装備されたアクティブスラスタユニットに設置されている。このユニットによって、ホバー走行が可能である。これらの装備を可動させるため、高出力のジェネレータが装備されている。

注意

必ずお読みください

とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

《組み立てる時の注意》

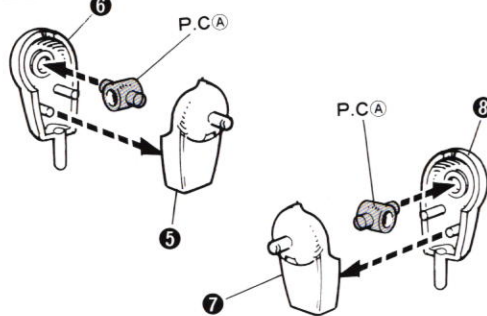
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

■パーツリスト [使用材質] <成形品> (スチロール樹脂:PS) <ポリキャップ> (ポリエチレン:PE)

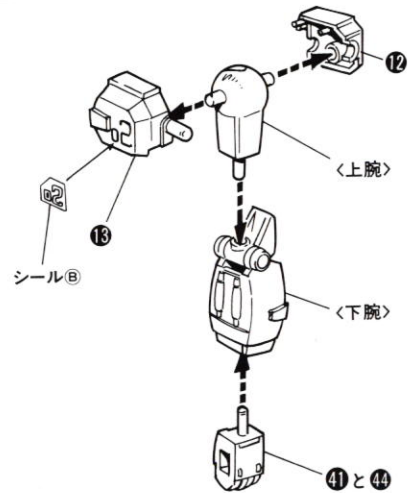
パーツリストの図表には、1から62までの部品が写真と番号で示されています。下部には「ポリキャップ」の部品と「シール...1」の注釈、そして「*P.C.Cは使いません。」という注意書きがあります。

1. <腕の組み立て>

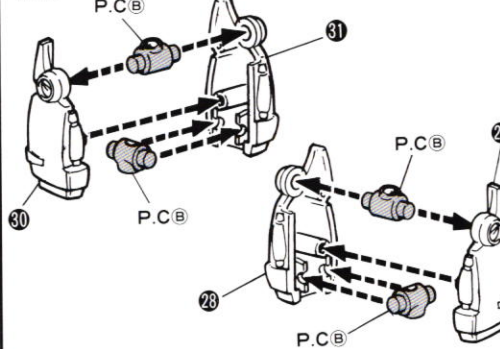
<上腕>



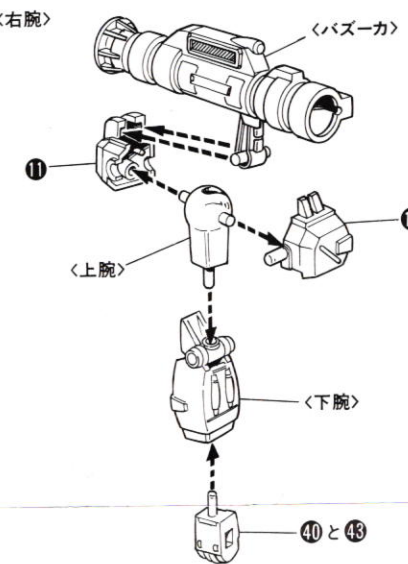
<左腕>



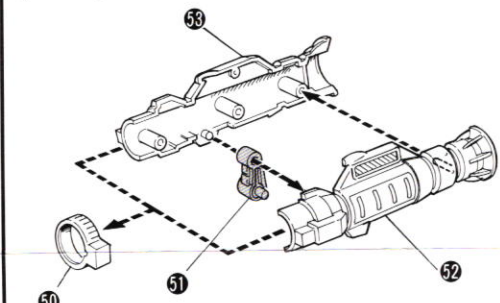
<下腕>



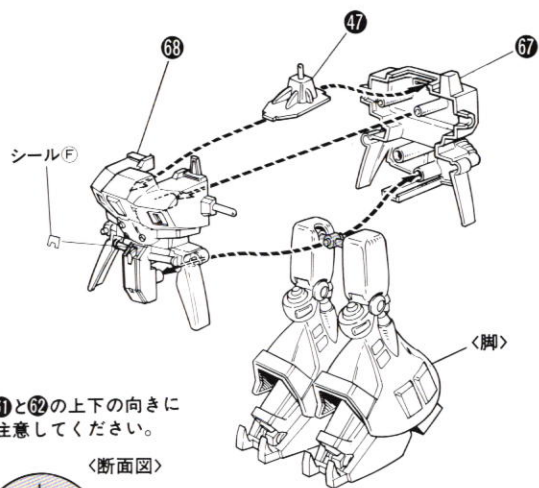
<右腕>



<バズーカ>

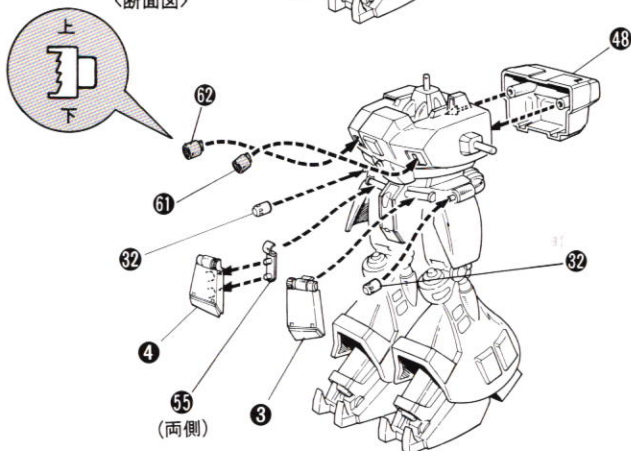


6. <ボディの組み立て>

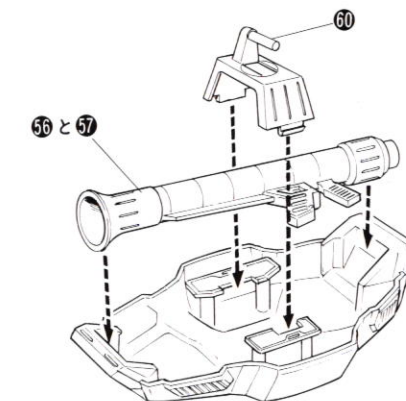
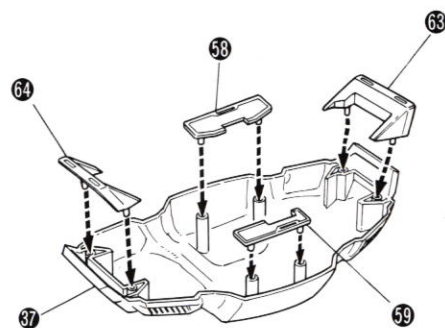


※61と62の上下の向きに注意してください。

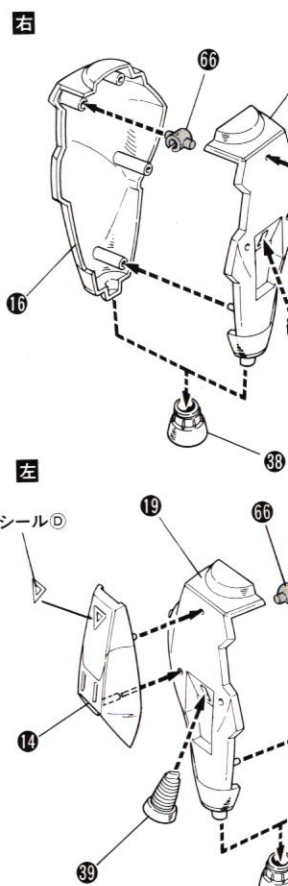
<断面図>



7. <シールドの組み立て>

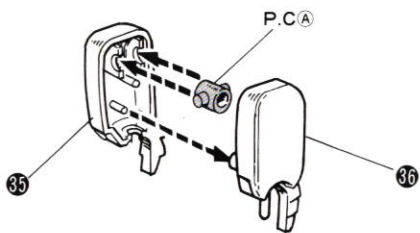


8. <スラスタバインダーの組み立て>

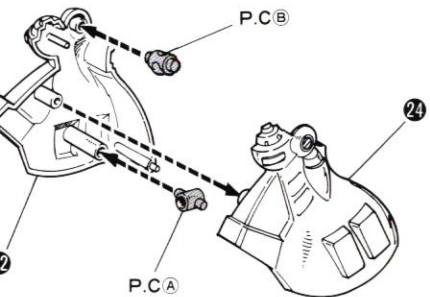


左脚の組み立て

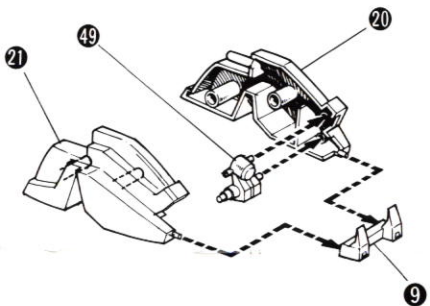
左モモ



左スネ

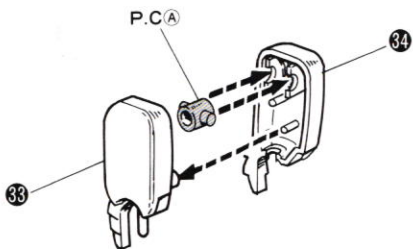


左足

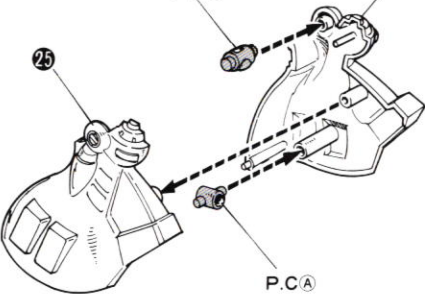


3. 右脚の組み立て

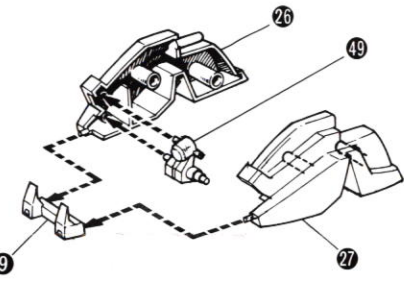
右モモ



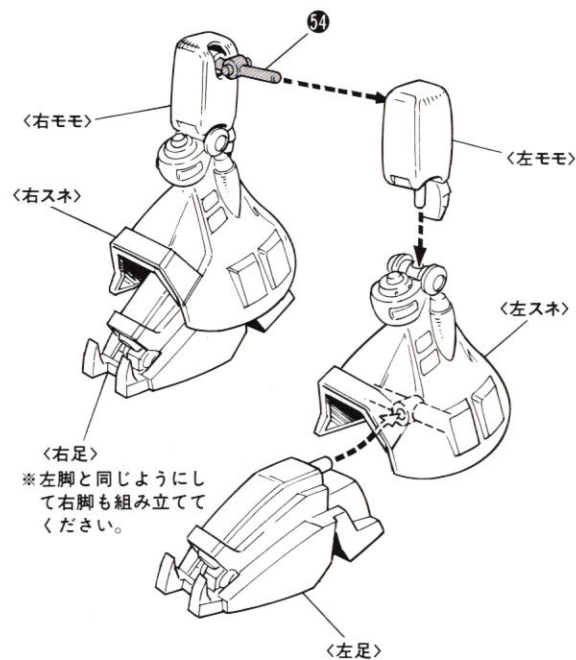
右スネ



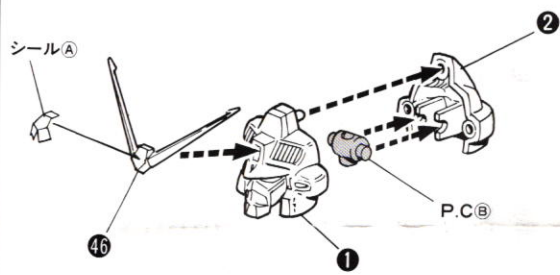
右足



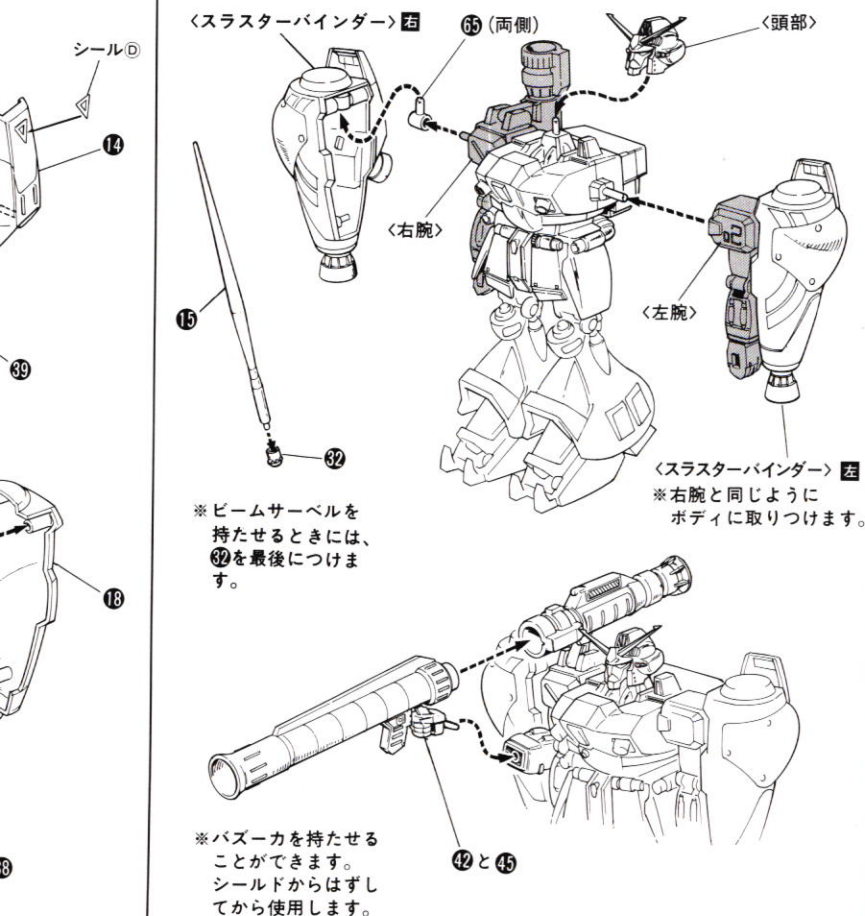
4. 脚の取り付け



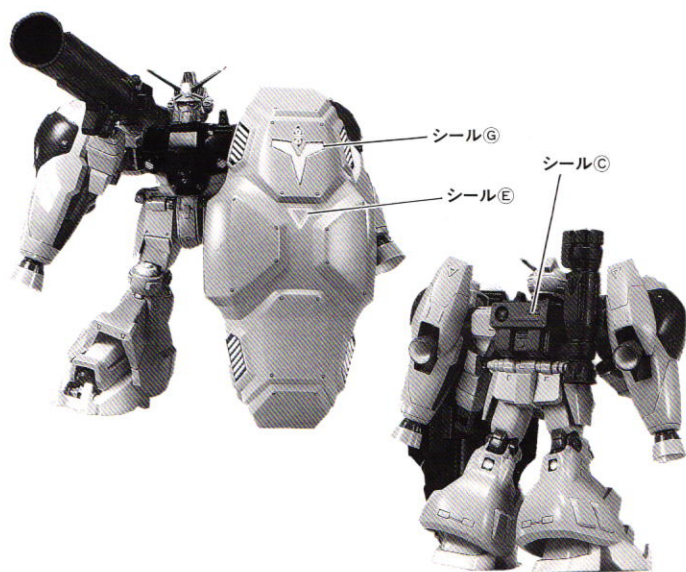
5. 頭部の組み立て



9. 完成



完成写真



（お買い上げのお客様へ）部品をこわしたり、なくした時は「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。）にて右記までお申し込みください。代金は、部品代（1個40円×個数）+郵送料（120円）です。為替証書は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に120円を超える時は不足分を請求、120円以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、右記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先
〒424-8735 静岡県静岡市清水西久保305
(株)バンダイ静岡相談センター
TEL 0543-65-5315

For Japanese use only.
部品注文カード 33469-1000
1/144 ガンダムGP02A 色

必要な部品の記号・番号・数量をかき

●注文された理由(○で囲む) (こわした/なくした)
日中ご連絡可能な電話番号
() '91.7